

第2回神戸市地域公共交通会議 議事要旨

日時 平成20年3月14日(金) 13時30分～14時30分

場所 センタープラザ西館6階2号室

1. 開会

2. 議題

(1) 淡河町における公共交通のあり方について【資料1】

別添資料のとおり、事務局より説明。

(2) 淡河町住民による町内有償運送について【資料2】

別添資料のとおり、事務局より説明。

<意見交換>

(構成員)

- ・神戸市に合併して50年を迎えたが、高齢化、過疎化が進行し、私達も今後どうするかということが大きな問題となっている。
- ・ふれあい喫茶やデイサービスにあたって、婦人会のNPOがカーボランティアとして活動しているが、婦人会の努力には限界があると感じている。
- ・子供さんの送迎がお母さん方の大きな負担となっており、若い人たちが淡河に帰ってこない原因の一つになっている。
- ・行政や事業者の方々の協力をいただき、この有償運送を実現して、淡河町民みんなで頑張って持ちこたえていきたい。
- ・三ノ宮～吉川庁舎前線について、通勤・通学者の帰宅のために、夜の便をもう1便お願いしたい。

(構成員)

- ・グランドゴルフの送迎については、是非、早く運行して欲しい。自宅からの交通手段がなく参加できない人もいる。高齢者の健康づくりにはよいスポーツなので、関係者のご理解をお願いしたい。

(構成員)

- ・路線定期運行については、自宅近くから路線バスのバス停までということで、地元のバスを守っていこうという意思も十分感じられるので、是非お願いしたい。
- ・特定日運行については、バスで行けるようなバス停間等では乗降をしない等、ご配慮をお願いしたい。
- ・三宮～吉川庁舎前線については、1人の運転手、1台の車両を使って運行しており、終発時間を延長することは非常に厳しい状況だが、前向きに検討している。

(構成員)

- ・町内にタクシー営業所がなく、コメントする立場にはない。

(構成員)

- ・前回の公共交通会議の後、淡河町の人たちのお話を伺う機会があった。
- ・その中で、バスを少し補完できるような交通手段があると便利、ふれあい喫茶や学童の送迎などで、結構大変な思いをしているなど、バスやタクシーだけではなかなか対応できないような住民ニーズを感じた。
- ・地域の方達が本当に元気を出して、いろんな意見を出し合った中での今回の提案だと思うので、そのあたりを是非、考慮してほしい。

(構成員)

- ・住民がいろいろ考えて路線バスにつなげるフィーダー交通を作っていこうとするのは、すばらしい一つの試みで、住民と事業者と行政が一緒になって作り上げる神戸における新たなモデルになるのではないか。
- ・淡河の住民はお願いするだけでなく、この試みがだめになったら、もう淡河には住めなくなるということをよく理解して、路線定期運行、特定日運行にみんなで乗る。そして、路線バスを使っていくことが重要。事業者には、路線定期運行の試みは邪魔者ではなく、サポーターなんだというご理解をいただければと思っている。
- ・三宮～吉川庁舎前線の時間変更については、町民が少しでも乗っていかないと実現は難しい。また、社会実験をすとか、住民の声を聞きつつ、事業者も一緒に攻めになっていかないと新しい方向は見えないのではないかと思う。

(構成員)

- ・近年、神戸市においても自分らの地域に合った公共交通が欲しいという要望が出ていると聞いている。行政において、実証実験等を支援する施策があれば、そこに新たな公共交通というのは生まれてくるのではないかと思う。
- ・国においては、昨年成立した「地域公共交通活性化及び再生に関する法」に基づき、頑張る地域に対して補助する方向になっている。実証実験に対する支援についても、今後の課題として取り組んでいただきたい。

<協議結果>

- ・今回提案のあった町内有償運送については公共交通の維持に資するものであり、地域公共交通会議としては、その必要性を認める。

(3) 今後の進め方について

- ・神戸市過疎地有償運送運営協議会を設置・開催し、安全性の問題等について具体的に関係者で協議を続けていく。